

# 報告書〔8〕 分析結果及びフローシート

## 9 フタル酸ジ-2-エチルヘキシル

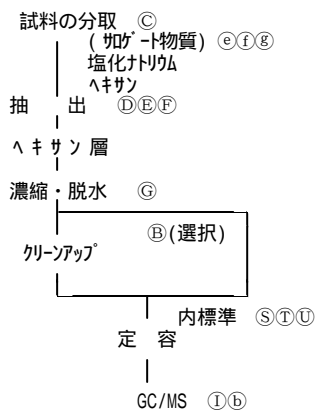
分析実施機関名	整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001 2. ISO 9002 3. ISO 9003 4. ISO 14001 5. なし
分析主担当者名		*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

注1) 分析結果 ( $\mu\text{g/l}$ )	標準偏差 ( $\mu\text{g/l}$ )	測定回数 (回)

注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

### <溶媒抽出-GC/MS法>



### <分析法等>

分析法	1. 溶媒抽出-GC/MS 2. その他( )
クリーンアップ	B 1. フリジカルカラムグラフ 2. GPCカラムグラフ 3. 実施しない
試料量	C ( ) ml
抽出溶媒の種類	D 1. ヘキサン 2. その他( )
抽出回数	E ( ) 回
溶媒量	F ( ) ml / 回
濃縮方法	G 1. KD 2. ロ-リ-IPホ-レーター 3. その他( )
最終定容量	H ( ) ml

### <分析条件>

機器型式(GC)	メーカー( ) 型式( )
機器型式(MS)	メーカー( ) 型式( )
測定質量数 GC/MS	①( )
装置型式	① 1. 単集束 2. 二重集束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他
検出法	② 1. SIM法 2. スカニング法
カラム型式	メーカー( ) 型式( )
カラム形状	①内径( ) mm ②長さ( ) m ③膜厚( ) $\mu\text{m}$
カラム昇温条件	初期温度 _____ 保持 _____ 分 / 分 _____ ~ _____ / 分 _____ ~ _____ / 分 最終温度 _____ 保持 _____ 分
キャリアガス条件	③ 1. N <sub>2</sub> 2. He 3. その他 ④ ( ) ml / 分
試料注入部温度	⑤ ( )
試料注入方法	⑥ 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム

### <検量線の作成等>

定量方法	⑦ 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 内標準物質 種類名① 1. 4-クロロトルエン-d <sub>4</sub> 2. ナフタレン-d <sub>8</sub> 3. ビフェニル-d <sub>10</sub> 4. フェナントレン-d <sub>10</sub> 5. フルオランテン-d <sub>10</sub> 6. クリセン-d <sub>12</sub> 7. ペリレン-d <sub>12</sub> 8. その他( ) 添加量⑧ ( ) ng
試薬(標準原液)	⑨ 1. 購入 2. 自作 1. の場合メーカー( )
検量線	⑩作成点数( ) 範囲⑪( ) ~ ⑫( ) 単位 ⑬ 1. ng(注入量) 2. mg/l(濃度) ⑭最高濃度のピーク高又は指示値( )
試料溶液	⑮ピーク高又は指示値( )
ブランク	⑯ピーク高又は指示値( )
使用した水(注2)	⑰ フタル酸ジ-エチルヘキシル濃度( ) mg/l
加ゲ-ト物質の使用	⑱ 1. 使用していない 2. 使用する 加ゲ-ト物質 種類⑲ 1. フタル酸ジ-2-エチルヘキシル-d 2. その他( ) 添加量⑲ ( ) ng
検出下限値	⑳ ( ) $\mu\text{g/l}$

注2) 共通試料の希釈等に使用した水。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

試料溶液の調製について	-----
測定方法について	-----